



2024年5月16日(木)
全日本食品株式会社

全日食本社に太陽光発電設備を導入し、 再生可能エネルギーの活用推進

2024年5月より稼働、CO₂排出量を年間で約55t削減

全日本食品株式会社（以下、全日食）は、脱炭素社会の実現を目指した取り組みの一環として、本社屋上に自家消費型太陽光発電設備を設置し、5月16日より稼働いたしました。これにより本社の年間消費電力量を9万5,005kWh削減でき、CO₂排出削減量としては55.01t-CO₂の見込みです。55.01t-CO₂は一般家庭22世帯分相当分となります。※¹

全日食では、本部・加盟店の省エネルギー対策として、加盟店の冷蔵ショーケースや照明などの設備更新の推進、節電マニュアルに基づいた店舗運営指導、物流の見直し（共同配送、物流拠点、配送コース、配送頻度）、省エネセミナーによる従業員、加盟店への省エネ活動啓発などを行っています。

全日食チェーンは、第12次3カ年計画に「地球環境に優しいチェーン活動の推進」というスローガンを掲げており、今後もあらゆる方法でCO₂の削減に取り組み、環境に配慮したチェーン活動を推進してまいります。

※¹出典：環境省「令和3年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査資料編（確報値）より

■ 今回導入した太陽光発電システムの概要

完全自家消費太陽光発電システム 140.27kW パネル338枚

